Top Interview

Taichi Yoshida

「孤立死」の現場から学ぶ 最後まで孤立しない為にどう生きるか

遺品整理会社「キーパーズ」代表取締役 吉田 太一さん

2011年11月に公開された「アントキノイノチ」(ダブル主演：岡田将生、榮倉奈々 原作：さだまさし)。同年のモントリオール映画祭で、イノベーションアワードを受賞した本作は、「遺品整理業」を取り上げた作品です。そして主人公ふたりが働く遺品整理会社のモデルとなったのが、今回ご紹介する遺品整理業専門会社「キーパーズ」なのです。さだまさしさんは、NHK「ドキュメントにっぽんの現場」で特集されていた、キーパーズに興味を持ち、会社まで訪ねてきたといいます。そこで遺品整理という仕事の話を聞き、「とても大切な仕事だ」と言って下さり、小説の題材になさったとのこと。劇中の遺品整理会社「クーパーズ」のモデルとなった会社「キーパーズ」。代表取締役の吉田太一さん(50)にお話を聞きました。

キーパーズ有限会社 代表取締役 吉田 太一

プロフィール

1964年、大阪府生まれ。2002年、日本初の遺品整理専門会社「キーパーズ」を設立。全国に直営支店を構え、年間1500件にも及ぶ遺品整理サービスを提供している。本業以外に、「遺品整理の現場から見える生き様」、「『孤立せずに生きる為』などの講演活動も精力的に行っている。NHKを始め、朝日・毎日・読売新聞、AERAなど、多数のメディアにてその活動が取り上げられている。著書に『遺品整理屋は見た！』(扶桑社)『遺品整理屋は見た!!天国へのお引越しのお手伝い』(幻冬舎文庫)『おひとりさまでもだいじょうぶ。』(ポプラ社)『孤立死 あなたは大丈夫ですか?』(扶桑社)『私の遺品お願いします。』(幻冬舎)など多数。

「遺品整理」という仕事と、その現場から見えてきたこと

遺品整理業とは、遺族に成り代わり、故人の部屋の家財道具の処分や清掃、形見分けの配送、ご自宅の売却や解体、遺品の供養までを、一括で引き受ける専門のサービスです。12年前、私が設立した会社「キーパーズ」は、日本で初めての遺品整理専門の会社で、現在は東京・大阪・愛知・福岡・石川・北海道など全国に10支店を構えております。これまで1万件以上の遺品整理の現場に立ち会ってきた中で、遺品整理とは単なる片づけではない事がわかってきました。遺品は故人の生き様を語っており、遺品整理の現場からは遺族が知らなかった故人情報が遺されているのです。その情報とは、悲しいものだけではありません。それを知る事によって自分がこれからどう生きるべきかの指針となる、故人が遺してくれた最後のプレゼントではないかと私は考えています。

ですので、遺品整理はただ片づければ良いというわけではありません、先にもお伝えしたように遺品は故人の生き様を語る貴重な存在で、ゴミ扱いしてほしくないのです。

私達は、遺品整理は「天国へのお引越しのお手伝い」だと考えております。

なぜ、遺品整理が必要になったのか？ 共有から専有の時代へ

最近は、遺品整理サービスについては知られてきましたが、私が創業するまでなぜなかったのでしょうか？それは、遺品を片づける必要がなかったからです。

過去の日本では、家制度が根付いており先祖代々、長男が跡取りとして家を継ぎ、一族の土地家屋等の財産を守ってきました。そして、多くの家族が同居をしており、家財道具の多くが共有財産だったのです。

しかし、数十年ほど前から家制度は崩壊し、実家で親と同居せず、別居する核家族化が進み、家財道具は〝共有財産〟から〝専有財産〟へと変わっていったのです。

そのために、ひとり住まいの方の亡くなった後の遺品整理サービスへの需要が発生したのです。

私が遺品整理業を始めたきっかけは、まさしくそのような時代のご遺族との出会いからでした。

ある日、引越の見積もりに伺った私は「荷物の運搬だけでなく、リサイクルの買い取りや不用品の処分、またお部屋の清掃まで全てお手伝いしましょうか？」とご提案しました。

すると、依頼者は「この時全て受けてくれる人は神様に見えるわ！」と仰ったのです。

不思議に思いお話を聞くと、そのマンションは依頼者のご実家でひとり住まいの父親が亡くなり、遠方に住む娘さんが遺品を片づけに来ていたのです。しかし当時遺品整理の専門会社の無かった時代に、見積もりを取るだけでも何日も会社を休まなければならなかったのです。

しかし、私が全ての依頼を一括でお受けしたことによって、一度の見積もりだけで済みその日中に東京へ帰る事が出来たのです。

私はその時このようなご家族は日本には多く、意外に困っているご遺族は多いのではないかと思い当時まだ誰も行っていなかった、日本初の遺品整理専門会社を始めようと考えたのです。

ご遺品のお葬式 〈日本初の遺品供養サービス〉

弊社では、ご遺品をお預かりし各支店に設置してある祭壇にお供えし、僧侶を招いて遺品の合同供養祭を行っております。故人が気に入っていた家財道具を天国に届けてあげたいという考えから、創業時より遺品整理サービスをご依頼されたご遺族のご希望する遺品を無料でご供養しております。

写真、人形、仏壇だけでなく、故人の趣味の物や気に入っていた洋服や着物など、様々な遺品を供養させて頂いており、最近では供養祭に列席されるご遺族も増えてきております。

孤立死よりも、「孤立化してしまっている人」の増加が問題なのです。

私は毎年、全国の行政や社会福祉協議会などに講師として招かれ、「孤立死」や「孤立化」についてお話をさせて頂いております。

最近はこのような『孤立死』の増加が社会的な問題として取り上げられるようになってきました。弊社がお手伝いする年間約1500件の遺品整理の現場でも、全体の6分の1にあたる200件～300件は孤立死らしき現場で、このような最期を迎える人が増えている事はとても悲しい事です。

単身世帯が増えている今、「孤立化」つまり人間関係が乏しくなっている人たちが非常に増加していることが社会全体の問題となっており今後増々このような人間関係の断ち切れていて死んでもなかなか気付いてもらえない生活をしている孤立者の増加に危機感を持ちます。孤立化している人たちに、自分の生き方を見直し、人との関わりを思い返してもらうこと。それが孤立死を減らすことに繋がるのではと考えています。

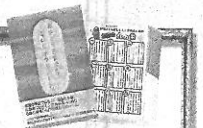
遺品整理の事前相談者の増加

そんな中、最近、遺品整理の予約をしたいという事前相談が非常に増えてきました。しかし、その人の死を待つような仕事をしているというイメージが嫌だったので、予約は今でも受け付けていませんが、一切無料で訪問して、私個人がプライベートという形でお話を聞き、遺品整理だけでなく葬儀や遺言、納骨の事まで相談に乗っています。ここ8年程で、150人くらいの方のお話をお聞きしました。

事前相談をされる方々をみていると、3タイプに大別できるようです。ひとつめのタイプは、全く身内がいないので、他人に迷惑をかけたくないという人たち。次に多いのが、ひとり住まいで、子どもはいるけれど遠方に住んでおり、あまり子どもに迷惑や負担をかけたくないという人たち。残りの1タイプは、子どもも近くにいるし、近所に親戚もいるけど、「奴らには絶対にやってもらいたくない」という人です。「できたら、死んだことも黙っておいて欲しい」という人も非常に多いのです。これには驚きました。

とにかく、自分の死後、出来るだけ迷惑を掛けないようにと最後に考えないといけない時代になってしまったんだなと思うと寂しい気持ちになります。

読者プレゼント！ おひとりさまでもだいじょうぶノート。



無料配布で、希望者の方に差し上げていますので、よかったらお試しください。
人生のエンディングの為だけでなく、これからの残りの人生を有意義に生きるためにご活用頂ければと思います。

ノートは薄く、文字も大きいので、面倒くささを感じることなく書けます。孤立しない生き方をアドバイスする「おひとりさまでもだいじょうぶノート。」
吉田さんの著書『おひとりさまでもだいじょうぶ』（ポプラ社）のデザインとネーミングを引用したノートです。このノートは希望者の方にもれなく贈呈しています。遺品整理のポイントのほか、「多少わがままに生きよう」など、孤立死を防ぐ9カ条を紹介しています。人生のエンディングの為だけでなく、これからの残りの人生を有意義に生きるためのコツなどを盛り込んだ内容です。一世帯当たり2冊まで。

ご希望の方は●郵便番号●ご住所●お名前●ご年齢（差し支えない方で結構です）●電話番号●メールアドレス●希望冊数（1冊・2冊）を表記の上、以下の住所までお送りください。
（はがきのみで受付）
〒143-0011 東京都大田区大森本町2-4-22
おひとりさまでもだいじょうぶノート。プレゼント係
※キーパーズが送料も負担致します。（送料無料 ヤマトメール便にてお届けします）
※ご提供いただきました個人情報は、『おひとりさまでもだいじょうぶノート』発送のみに使用し、その他の二次使用は一切致しません。

企画制作:大毎広告株式会社 広告

「身内の遺品整理に、かける時間はありますか？」

天国へのお引越し®のお手伝い

私たちはプロの遺族です。

相続に伴う 遺品整理 不動産の売却 事前整理 相続相談（無料・専門家のご紹介） 遺品供養 などご気軽にご相談ください。

遺品整理についてのお問い合わせは── キーパーズ® 0120-754-070

キーパーズ大阪支店 〒561-0807 大阪府豊中市原田中2丁目1-38（株式会社キーパーズESP 宅地建物取引業免許 東京都知事(1)第94488号）